

# 高令者が

# ホんとにホっとするホ号棟

## をめざして！

### 第1回「ときわぎ国領」との懇談会報告

9月30日(土)午前10時より、高令の方など39名の参加のもと「ときわぎ国領」との第1回懇談会が開催されました。「ときわぎ国領」からも伊藤、市川、佐藤さんの3名の方に参加していただきました。青木副理事長の挨拶のあとすぐ議題に入りました。

- (1) ときわぎ国領は高令者とご家族のための相談窓口で、介護・予防をはじめ様々なサービスの利用や虐待の早期発見、防止など総合的な相談を受付けます。市役所の高令者窓口と理解して下さい。
- (2) ときわぎ国領が実施している事項
  - ① 特別養護老人ホーム(99人入居、全員個室、ユニット型式)  
入居申込は「ときわぎま国領」まで
  - ② 老人デイサービスセンター デイサービスの送迎は施設がする。
  - ③ ショートステイ 10月5日開設で全室個室 6床  
送迎は有料、期間は介護度及び受けているサービスにより異なる。ケアマネージャーと相談して決まる。  
号棟の5階に住んでいても、通院している時と同じように迎えに行くことは出来る。
  - ④ 在宅介護支援センター — 略 —
  - ⑤ 訪問介護 いずれも「ときわぎ国領」に直接または電話でご相談下さい。



### (3) 介護認定の手続き

対象は 65 才以上で、生活するのに不自由をしている人

但し特定疾病(リュウマチ・難病他)の場合は 40 才以上。

認定面接を受ける時の注意として、普段困っていることを強調するように。(今日はできたが、いつもはできない、など)

申請については、「ときわぎ国領」に電話すれば代行してくれます。

なお、介護認定については、次回も詳しく学習します。

### (4) ケアマネージャーと利用者の関係

「ときわぎ国領」に連絡すればケアマネージャーを探す手伝いをしてくれるが、選択するのは本人。一度決めても自分に合わなかったら再度探してもらうことも可。

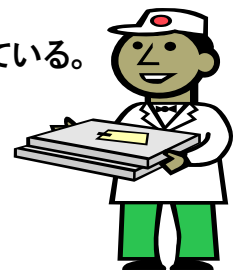
ケアマネージャーが介護プランを作成してくれるが任せきりにせず、自分でもどんなサービスがあるかなど勉強することも必要。ケアマネージャーの資質としては複数の選択肢を提案できる人の方がよい。

### (5) 食事サービス

65 才以上で自分で買物ができない、食事を作ることもできない人のためにあり、認定された人が利用できる。

配食サービス業者は弁当を届けるだけでなく生存の安否確認もしている。

認定されていない人に対して、民間の弁当業者も紹介している。  
一人暮らし高齢者用弁当その他。1食でも配達してくれる。



### (6) マッサージサービス

歩行訓練のサービスは、介護保険で受けることができる。(65 才以上の方)

70 才以上の場合は、高齢者医療(1割負担)で受けることもできる。

訪問リハビリはディサービス利用の折、利用することもできる。

ディサービスを受けない人も利用できないか？ → これについては地域の皆さんに開放する意味でも「ときわぎ国領」に持ち帰り検討したい。

### (7) 住宅改修

- ① 介護認定された場合 上限は一人1回で 20 万円まで(1割負担で)

但し、家を引越したり介護度が上がったときは、「ときわぎ国領」に相談すること。

- ② 住宅改修の助成(市) ケアマネージャーが訪問して必要ならば市に申請する。

福祉用具の利用 年間 10 万円 必要性が認められたら利用できる。

※介護ベッド 介護度が 2→1 になると利用できなくなることもある。

### (8) 認知症

予防するには、ウォーキング、料理をする、パソコンなどがよいそうです。

認知症の方には、本人の気持ちを安定させてあげることが大切だそうです。(次回には、更に詳細な学習をします。)

(9) この地域で高齢者サービスを実施している店の紹介

今回は食事関係(資料参照)

今後は往診などをしてくれる病院について、管理組合としても調査してみなさんに報告していきたい。

(10) ボランティアの募集

ボランティアをする利点としては、

- ① いつも話し相手がいる
- ② 自分自身も社会性をもつ
- ③ 認知症の予防になる



健康な人のボランティア参加は随時受け付けています。窓口は「ときわぎ国領」の伊藤さん。「ときわぎ国領」としては週に1回でも2回でもしてほしい。新たなつながりができる。実際に他の機関でボランティアをしている秋山さんのお話し

「NPOのドライバーとして、人口透析をしている方の病院までの送迎、足の悪い方の整形外科へ毎週1回の送迎、酸素ボンベを使用している方の送迎などしています。運転には自信がありますが、病人に何かあったらどうしようかという不安をかかえながらお手伝いをしています。」

(11) 「みまもっと(ときわぎ国領)」

おせっかいでなく、入り過ぎず、一人暮らしの人などが、どうしているのかなの見守りを広げていこうとしている。たとえば、新聞がたまっているのが気になるがどうしたらよいか?こんな時「みまもっと(ときわぎ国領)」に電話をすると対処してくれる。

(12) 次回開催予定

12月に2回目を開催予定

テーマは「認知症・介護保険・在宅問題」など

日常生活で困っていること、不安なことがある人は遠慮なくそのテーマを管理組合まで申し出て下さい。



※ 2時間という長い間、みなさん本当に熱心に話しを聞き、わからないことなど質問をされました。普段の不安が少しでも解消されたのか、いいお顔で帰られたのが印象的でした。管理組合として、高齢化社会をのりこえていくために、階段委員会、防災訓練、「ときわぎ国領」との交流、地域活動委員会が担当している「団地まつり」、「地域運動会」、「サークル活動」などを通じて、みんなで支えあう地域力を養っていくことができればと思いました。



## “地域で生きる足がかり”

5号棟 堀家

“地域で生きる足がかり”ができました。

9月30日に「ときわぎ国領」から3人の担当者がいらっしやって、分かり易く説明して下さい、何となく分からなかった事が分かりました。

今すぐ、聞くほどでもないけど、その時になって自分が体調を崩してから聞いても間に合わない。もっと前に準備できるからです。

体調が崩れた時「食事」や「家の中の設備」「助けてくれる人」等について、介護支援センターはどんな事をして下さるのか分かってきました。

「ケアマネージャー」はどんな人？

「市域包括支援センターときわぎ国領」って何をして下さる所？

しかも無料で相談できるし、秘密も守ってくれます。

管理組合も支援センターと足なみを合わせて予定していきます。ホ号棟の地域で生きる手がかり、足がかりができます。

12月にも予定されているので、出席して安心をふやしましょう。

## 「ときわぎ国領」懇談会に参加して・・・

8号棟 井上

「ときわぎ国領」との懇談会を開催していただきありがとうございました。

私は、今のところ介護保険を必要としていませんが、遠からずそのお世話になる日が来るであろうとは考えています。健康で保険を使わずに済めば幸せですが、そうもいかないでしょう。

専門家や経験者の話は、チャンスがあればいつでも聞きたいと思っています。

「ときわぎ国領」のことは何も知りませんでした。ですから、いつかは多摩川住宅の中にも、高齢者の福祉施設を作るべきだと思っていました。話を聞いて何となく安心感を覚えました。

